

一般質問

掲載の8項目を含め11人の議員が29項目の質問を行い、町長の考えをたしました。

子育て支援

妊婦健診の公費負担の拡充を

国の方針に準じて実施

質問 現在、妊婦健診の助成回数は五回となっているが、出産支援施策として十四回分の妊婦健診を公費でまかなうよう、国が地方への補助金などで対応する予定である。公費負担拡充について検討してはどうか。

答弁 町としては、国から示される制度の詳細を確認し、公費負担拡充について検討する。



すくすく育てね

使用について指導を

フィルタリングで対応

質問 児童・生徒でも携帯電話の所持率が高くなっているが、悪質なサイトへアクセスして被害にあったり、ネットでのいじめなどの問題が起きている。

答弁 一、保護者には入学説明会やPTA総会などでフィルタリングについて指導している。二、学校への持込みは、原則禁止としている。三、教職員への研修については、国・県からの資料やマニュアル、新聞記事などを教材に行う。

携帯電話対策



有害サイトから子どもを守ろう

※フィルタリングとは…有害サイトなど、子どもに見せたくないサイトを閲覧できなくする携帯電話の機能

町民への正しい知識の周知を

広報などで情報提供していく

質問 今、世界中で懸念されているのが、鳥インフルエンザが人に感染して、人の体内でウイルスが変化し、人から人へと感染する新型インフルエンザの出現である。

答弁 住民への正しい知識の周知は、重要であると認識している。今後、新型インフルエンザに関する基礎的な知識の普及を始め、行政としての対応策などの情報を広報などで提供していく。



うがいと手洗いをしっかりと

新型インフルエンザ対策

公共施設のテレビへの対応は

2011年7月までに切替える

質問 地上デジタル放送への完全移行は、二〇一一年七月二十四日になっており、円滑な移行推進のための対応が必要である。

答弁 町内公共施設の整備対象台数は百三十九台である。現在、全体としての計画は定めていないが、対応方法や必要経費などを検討したうえで整備計画を定め、二〇一一年七月までには切替えていく。

地上デジタル放送



2011年7月から切替わります

急いで取り組む

質問 サステナブル都市の実現に向けて取り組むため、二年後にせまる第四次総合基本計画の策定を急ぎ、平成二十一年度予算にその経費を計上してはどうか。

答弁 第四次総合基本計画は、平成二十三年度から平成三十二年度までの十年計画となっている。来年度にまず本町の将来像となる基本構想案を、続いて平成二十二年には、具体的施策を明らかにする基本計画を策定することとしている。

※サステナブルとは…「持続可能な」という意味。将来の環境や次世代の利益を損なわない範囲内で社会発展を進めようとする理念で、「環境に負荷を与えない循環型」や「緩やかな持続」という意味合いもある。



サステナブルを目指す海田町

まちづくり

プレミアム商品券の発行を

検討する

質問 三次市では、商工会議所が一億一千万円のプレミアム商品券を発行し、プレミアム分の10%のうち5%を三次市が補助し、残りの5%を商工会議所と地元取扱加盟店が負担する取組みを行っている。

答弁 プレミアム商品券の発行は、商工会からの案が出れば検討する。



三次市のプレミアム商品券

景気対策

本町でも商工会と一緒にプレミアム商品券を発行してはどうか。

企業力の活用を

「道路の里親制度」で対応

質問 会社や店舗で自主的に周辺の清掃をしているところはあるが、それでも雑草やごみなど、目に余るところも多々ある。

答弁 道路の美化・清掃は、町民が里親になってボランティアで管理する「道路の里親制度」を六団体一団体が実施されている。

道路整備の担当課で企業周辺の清掃などの実施を強力に推進するべきではないか。

企業や個人に対して強制できるものではないが、この制度に賛同してもらい、多くの方にボランティア活動に参加していただくよう、広報などでPRする。



どんどん応募してね

町内美化

点検や改修はどうする

予定している

質問 年次計画を立てて、定期的な点検や大規模改修を行うとのことであるが、平成二十一年度はどうするのか。

答弁 橋長が十五メートル以上の十四橋については、平成二十年度にすべての点検が完了した。

平成二十一年度は、橋長が五メートル以上の四十一橋を点検する予定である。

その後五メートル以下二メートル以上の橋、十九カ所の点検を予定している。

橋の管理



三迫川に架かる「畑の谷橋」